

特定非営利活動法人
足元から地球温暖化を考える市民ネットえどがわ

2016 年度法人総会 議案書



※写真（左上から時計回りに）

江戸川区環境フェア出展の様子/パタゴニア丸の内店との打ち合わせ/福島県の高校生との交流/自立電源づくりワークショップの様子

第1号議案 2015 年度事業報告

第2号議案 2015 年度会計決算報告

第3号議案 2016 年度事業計画（案）

第4号議案 2016 年度会計予算（案）

2016 年 5 月 29 日 12:15～13:30
江戸川区勤労福祉会館

第1号議案 2015年度事業報告

東京電力・福島第一原子力発電所のメルトダウン事故から5年が経過した。事故は収束に向かうどころか、日々始まり続けていると言ってもよく、放射能による汚染が続いている。ところが、原発の維持に固執する現政権は、再生可能エネルギーの導入抑制や新たな原発支援策、原発の海外輸出を打ち出し、原発維持を困難とする電力システム改革を不十分なものにしようとしている。これに対し、市民側では、2016年度の電力小売り自由化に向けて再生可能エネルギー導入促進を進める運動が始まり、環境政策に消極的な政府に対して全国ネットワークが設立された。

本会では、脱原発と低炭素社会をめざす市民側の様々な動きに参加・賛同しながら、江戸川区においても同様の動きを進めるため、会の活動への理解を得るべくホームページのリニューアルやパンフレットを作製すると共に、自立電源づくりワークショップの開催、えど・そら3号機建設の立案などを進めてきた。そして、2017年度に設立20周年を迎えるに当たり、周年事業の検討を始めたところである。

●特定非営利活動に係る事業

1. 家庭・地域における省エネアクションプランの作成とキャンペーンの実施

えどがわエコセンター低炭素社会づくり委員会に参加し省エネ・節電チャレンジやみどりのカーテンモニター事業に関わった。また、気候ネットワークなどと「全国節電所フォーラム」を開催し、先進事例に学ぶと共に戦略的な省エネの必要性について参加者と共有することができた。一方で、新たな省エネアクションの可能性について江戸川区やえどがわエコセンターと検討の場を持つことができなかった。

省エネ家電買い替えサポート事業について、買い替え融資を行った者のうち未返済者に対する返済督促を行ってきたが、貸倒れが8件37万円発生した。このため、貸倒損失を計上する。

<自己評価>

省エネ節電の重要性は高まっており、新たなアクションの検討が求められる。今後の買い替え融資においては保証人を立てるなど貸倒れ対策を実施する必要がある。

2. 地球温暖化やエネルギー等環境問題に関する研修会の実施等の啓発教育

オーナー型市民発電所の見学ツアーの開催（5月）、江戸川区環境フェアへの出展（6月）、移動PVシステムワークショップ（1月）の開催などを通じて啓発教育を行った。他団体が主催するセミナーや学習会への講師派遣を12回行った。

<自己評価>

引き続き地球温暖化やエネルギー問題について関心を持ってもらう地域向けの自主企画事業が必要である。

3. 市民出資による自然エネルギー発電所の建設と運営

市民立発電所やえどがわ市民発電プロジェクト“えど・そら”への視察を7団体から受け入れると共に、“えど・そら”を紹介するパンフレットを作成し、啓発教育などの機会に配布した。6月からは「松江の家」でオフグリッドシステムの運用を始め、オフグリッドに関するデータの蓄積を図っている。「市民電力連絡会」に参加し、経験交流や課題の共有を図ると共に、千葉における市民発電団体の通電式や発足式に出席し、交流を深めてきた。

<自己評価>

市民発電事業について地域の理解を広げるためPR用グッズを整える必要がある。

4. 地球温暖化防止のための地域行政、国、国際社会、市民への政策提言

エネルギー協同組合法案に関する民進党との意見交換会に参加したほか、気候ネットワークやeシフト、市民電力連絡会、グリーン連合などが企画・主催する政策提言活動に参加してきた。なお、

江戸川区地域エネルギービジョン「エコタウンえどがわ推進計画」の充実については、検討する機会を持つことができなかった。

<自己評価>

エコタウンえどがわ推進計画の第二次目標年が近づく中、設立 20 周年の節目に向け、中長期的な対策を提起していく必要がある。

5. 国内外で開催される、気候変動枠組み条約関連会議への参加やキャンペーンの実施

気候ネットワークやストップフロン全国連絡会の運営に理事として参画すると共に、それらを含む団体が主催する、気候変動対策キャンペーン「Climate Action Now!」や再生可能エネルギーの普及拡大に向けた「パワーシフトキャンペーン」の活動に参加してきた。

<自己評価>

キャンペーンに参加・賛同し運動の一翼を担ったが、会の存在感を十分発揮できなかった。

6. 政府機関、自治体、事業者、市民、NGOとの交流、連絡提携

区内においては「さようなら原発江戸川連絡会」や「えどがわエコセンター」、「エコメッセ元気力発電所」の運営に参画すると共に、オフグリッドハウス松江の家の運用では「江戸川子どもおんぶず」と連携してきた。区外では市民電力連絡会や市民・地域共同発電所全国フォーラムの運営に参画しながら、講師派遣や視察受入れを通じて社会団体や市民との交流・提携を行った。また、「パタゴニア丸の内店」からの活動支援を受け入れると共に、島根原発3号機訴訟や原発メーカー訴訟など社会的な問いかけの動きにも参加してきた。

<自己評価>

市民・NGOとの連携交流は活発だったが、政府機関・自治体とは連携交流に至らなかった。

7. 本法人の目的および地球環境問題全般に関する調査研究および情報の収集と提供

ホームページを全面的にリニューアルすると共に、フェイスブックと連動させて、活動状況を随時発信できる体制を整えた。ただ、『あしもと通信』の発行は3号にとどまり計画的な発行ができなかった。また、生協総研の研究助成に参加し、利尻島における住民主体による電力事業の歴史について考察を行った。そして、設立 20 周年に向けて周年事業企画について開催日程など具体的な検討を始めた。

<自己評価>

ホームページの適宜更新が進まない時期があった。また、『あしもと通信』を計画通り発行することができなかった。

●その他の活動に係る事業

1. 発電にかかる事業

概ね想定通りの発電量を確保できた。そして、市民発電プロジェクト「えど・そら」の意義と経験を伝えるため、新たなパンフレットを作成すると共にリニューアルしたホームページを通じて情報発信に努めた。そして、3号機建設候補地を確定することができ、2016 年中の建設をめざすことになった。また、売電事業において売電先を東京電力から切り替える可能性についても検討した。一方、借入金償還に向け提供する消費財・サービスなどのメニュー開発には至らなかった。

<自己評価>

発電開始から3年を迎え、希望者への償還期限5年が近づきつつある。借入金償還に向け提供する消費財・サービスなどのメニュー開発に努める必要がある。

2015年度 事業活動日誌

- 4月14日 ●第1回運営委員会
- 4月22日 ◇「INEB（世界仏教徒ネットワーク）」から視察受入れ
- 5月16日 市民ソーラー祭り（山梨県北杜市）を開催
- 5月17日 千葉みらい電力合同会社「大網白里第1市民発電所」通電式に出席
- 5月20日 ●第2回運営委員会
- 5月21日 民主党とエネルギー協同組合法案について意見交換
- 5月30日 2015年度定期総会を開催
- 6月05日 「グリーン連合」設立記念シンポジウムに出席
- 6月06日 江戸川区環境フェア2015に出展
- 6月20日 石徹白用水農協をヒアリング調査のため岐阜県石徹白を訪問
- 6月24日 ●第3回運営委員会
- 6月26日 さようなら原発江戸川連絡会・講演会「測ってわかる放射能の真実」に参加
- 6月30日 ホームページを刷新
- 7月10日 パタゴニア丸の内店にて活動内容を紹介
- 7月23日 ◇日本YWCAから視察受入れ
- 7月29日 ●第4回運営委員会
- 8月20日 松本幼稚園とえど・そら3号機に向けた話し合い
- 8月21日 板取ツアー（～24日）
- 8月30日 「いちかわ電力準備会」設立総会に出席
- 9月05日 「NPO まちぼっと」20周年シンポジウムで活動報告
- 9月09日 ●第5回運営委員会
- 9月15日 「生活クラブエナジー」省エネ講座に出講
- 9月22日 日中韓気候変動問題ワークショップ（～24日）に参加
- 10月09日 利尻島の発電事業史調査ため北海道利尻町を訪問
- 10月15日 ◇羽村市地球温暖化対策協議会「エコネットはむら」から視察受入れ
- 10月22日 ●第6回運営委員会
- 10月24日 「南紀自然エネルギー」シンポジウムで活動報告
- 10月31日 「全国節電所フォーラム2015」で活動報告
- 11月06日 「みんな電力株式会社」と懇談
「さようなら原発江戸川連絡会」総会に出席
- 11月07日 「茅ヶ崎自然エネルギーネットワーク」学習会に出講
- 11月13日 「市民・地域共同発電所全国フォーラム2015」に参加（～14日）
- 11月23日 ◇エネルギー自給の会@流山から視察受入れ
- 11月24日 ◇中村まさ子・江東区議から視察受入れ
●第7回運営委員会
- 11月28日 「Climate Action Now！集会&パレード」に参加
- 12月12日 「横浜市地球温暖化対策協議会」学習会に出講
- 12月16日 「江戸川総合人生大学」に出講
- 12月19日 第8回マザーズ・アース・フェスティバルに出展
- 12月20日 ◇日本YWCAを通じて福島の高校生から視察受入れ
- 12月22日 ●第8回運営委員会（市民ファーム忘年会）
- 1月16日 自立電源づくりワークショップを開催
- 1月27日 パワーシフトシンポジウム「デンキエラベル2016」に参加
- 1月30日 「エコメッセ元気力発電所」ソーラーシェアリングツアーに参加
- 2月09日 ●第9回運営委員会
- 2月21日 「多摩プラーザぶんぶん電力」学習会に出講
「おがわ町自然エネルギーファーム」新春フォーラムに出講
- 2月26日 市民電力連絡会総会に出席
- 3月02日 ◇アメリカ市民活動家からの視察受入れ
- 3月10日 民主党とエネルギー協同組合法案について意見交換
- 3月13日 「西東京・生活者ネットワーク」学習会に出講
- 3月16日 ●第10回運営委員会
- 3月20日 「清新町9条の会」学習会に出講
- 3月25日 「さようなら原発江戸川連絡会」学習会に出講

第2号議案 2015年度会計決算報告

1) 活動計算書

	非営利活動に係る事業	その他の事業	合計
I 経常収益			
売電売上		1,431,207	1,431,207
会員会費収入	52,000	0	52,000
寄付金収入	44,788	0	44,788
市民ソーラー仲介収入	0	32,500	32,500
講師派遣収入	110,000	0	110,000
受取利息	0	515	515
その他収入	90,000	2,301	92,301
経常収益計	296,788	1,466,523	1,763,311
II 経常費用			
1. 事業費			
会議費	950		950
通信費	0	14,928	14,928
備品消耗品費	81,832	0	81,832
電気料金		13,154	13,154
諸会費	24,500	15,000	39,500
地代家賃	0	28,800	28,800
減価償却費		902,228	902,228
貸倒損失	370,000		370,000
2. 管理費			
広告宣伝費	192,942	192,942	385,884
会議費	1,958	1,958	3,916
旅費交通費	6,850	6,850	13,700
通信費	51,257	51,257	102,514
備品消耗品費	41,395	41,396	82,791
事務用品費	1,582	1,582	3,164
支払手数料	1,473	1,473	2,946
地代家賃	21,000	21,000	42,000
支払報酬料	93,600	93,600	187,200
印刷費	14,150	14,149	28,299
雑損失	2,124	2,124	4,248
経常費用計	905,613	1,402,441	2,308,054
当期経常増減額	-608,825	64,082	-544,743
経理区分振替額			0
税引前当期正味財産増減額			-544,743
法人税、住民税及び事業税			70,092
当期正味財産増減額			-614,835
前期繰越正味財産			2,210,277
次期繰越正味財産			1,595,442

2) 貸借対照表

科目	金額	
I 資産の部		
1. 流動資産		
現金	0	
普通預金	3,635,344	
売掛金	185,718	
立替金	0	
流動資産合計		3,821,062
2. 固定資産		
(1)有形固定資産		
構築物	6,786,380	
有形固定資産計	6,786,380	
(2)無形固定資産	0	
(3)投資その他の資産		
長期貸付金	60,000	
投資その他の資産計	60,000	
固定資産合計		6,846,380
資産合計		10,667,442
II 負債合計		
1. 流動負債		
前受金	2,000	
未払法人税等	70,000	
流動負債計		72,000
2. 固定負債		
えど・そら債	9,000,000	
固定負債合計		9,000,000
負債合計		9,072,000
III 正味財産の部		
前期繰越正味財産		2,210,277
当期正味財産増減額		-614,835
正味財産合計		1,595,442
負債及び正味財産合計		10,667,442

3) 財産目録

科目	金額	
I 資産の部		
1. 流動資産		
手元現金	0	
普通預金		
三菱東京UFJ銀行 小松川支店	212,119	
小松川信用金庫 菅原橋支店	2,143,410	
ゆうちょ銀行 振替口座	399,815	
小松川信用金庫 定期積立	880,000	
売掛金		
市民立第1第2発電所売電料	185,718	
流動資産合計		3,821,062
2. 固定資産		
(1) 有形固定資産		
構築物(太陽光パネル3ヶ所)	6,786,380	
有形固定資産計	6,786,380	
(2) 無形固定資産	0	
(3) 投資その他の資産		
長期貸付金	60,000	
省エネ家電買換サポート(融資)		
投資その他の資産計	60,000	
固定資産合計		6,846,380
資産合計		10,667,442
II 負債合計		
1. 流動負債		
前受金		
会費前受分	2,000	
未払法人税等	70,000	
流動負債計		72,000
2. 固定負債		
えど・そら債 1号	5,000,000	
えど・そら債 2号	4,000,000	
固定負債合計		9,000,000
負債合計		9,072,000
III 正味財産の部		
前期繰越正味財産	2,210,277	
当期正味財産増減額	-614,835	
正味財産合計		1,595,442
負債及び正味財産合計		10,667,442

監査の結果、上記のとおり相違ありません。

2016年5月16日

監事 大栗ひろみ



第3号議案 2016年度事業計画案について

★脱原発・低炭素社会に向けた可能性の実践と発信

2016年4月から電力小売り自由化が始まり、再生可能エネルギーの導入拡大と相まって、再生可能エネルギー100%の電力を購入できる機運が高まった。しかし、低圧向け託送料金の高さや発電設備の圧倒的不足から、提示された電力料金メニューは使えば使うほど割引になるもので省エネ節電からは逆行している。原発維持に固執する現政権の下で、再生可能エネルギー特措法が改正され優先接続規定が廃止され、市民・地域主導による再生可能エネルギー発電設備建設が不安視されている。

本会では、脱原発・低炭素社会の実現に向けて、地域における動きを加速させるため、そのリード役になるべく、「えど・そら3号機」を建設し発電出力50kWを達成する。また、既存の社会団体との連携を継続しつつ、新電力やパタゴニア丸の内店との連携・協力を進めながら、本会の活動目的の周知を多様化していく。そして、20周年行事に向けた準備を進めていく。

●特定非営利活動に係る事業

1. 家庭・地域における省エネアクションプランの作成とキャンペーンの実施

えどがわエコセンター低炭素社会づくり委員会に参加し省エネ・節電チャレンジやみどりのカーテンモニター事業に関わると共に、新たな省エネアクションの可能性について江戸川区やえどがわエコセンターに働きかけていく。

2. 地球温暖化やエネルギー等環境問題に関する研修会の実施等の啓発教育

5月に開催する定期総会において電力自由化をテーマとした講演会を開催すると共に、6月には江戸川区環境フェアに出展し、参加者に対する気候変動問題やエネルギー問題への啓発を行う。また、他団体が主催する学習会への講師派遣を積極的に行う。

3. 市民出資による自然エネルギー発電所の建設と運営

市民立発電所やえどがわ市民発電プロジェクト“えど・そら”への視察を積極的に受け入れる。8月には東京YWCAを通じて福島県の高校生を受け入れる。また、市民発電事業について地域の理解を広げるためPR用グッズを整備していく。

4. 地球温暖化防止のための地域行政、国、国際社会、市民への政策提言

気候ネットワークやeシフト、市民電力連絡会、グリーン連合などが企画・主催する政策提言活動に参加していく。また、江戸川区地域エネルギービジョン「エコタウンえどがわ推進計画」の充実について江戸川区やえどがわエコセンターに働きかけていく。

5. 気候変動枠組み条約関連会議への参加やキャンペーンの実施

気候ネットワークやストップフロン全国連絡会の運営に理事として参画すると共に、それらを含む団体が主催する、気候変動対策キャンペーンや再生可能エネルギーの普及拡大に向けた「パワーシフトキャンペーン」の活動に参画していく。

6. 政府機関、自治体、事業者、市民、NGOとの交流、連絡提携

区内においては「さようなら原発江戸川連絡会」や「えどがわエコセンター」、「エコメッセ元気力発電所」の運営に参画すると共に、オフグリッドハウス松江の家の運用では「江戸川子どもおんぶず」と連携していく。区外では市民電力連絡会や市民・地域共同発電所全国フォーラムの運営に参画しながら、講師派遣や視察受入れを通じて社会団体や市民との交流・提携を積極的に行う。また、「パタゴニア丸の内店」との提携について具体化していく。島根原発3号機訴訟や原発メーカー訴訟など社会的な問いかけの動きにも引き続き参加していく。

7. 本法人の目的および地球環境問題全般に関する調査研究および情報の収集と提供

当会の事業目的や活動状況を広く知ってもらうため、ホームページとフェイスブックの連動による時宜に適した情報発信に努めると共に、『あしもと通信』の計画的な発行を進める。社会团体などとの交流等を通じて情報を収集に努め、必要な知見の蓄積を行う。

●その他の事業

1. 発電にかかる事業

年内をめどに「えど・そら」3号機を区内に建設し、20周年に向けた目標である総出力50kWの保有を実現する。売電先について東京電力から新電力への切り替えを行い、作られた再生可能エネルギー発電による電気が実際に使われ、気候変動対策に貢献していることを示す。借入金の償還に向けて提供する消費財・サービスなどのメニュー開発を進めていく。

第4号議案 2016年度予算案について
活動計算書

	非営利活動に係る事業	その他の事業	合計
I 経常収益			
売電売上	0	1,500,000	1,500,000
会員会費収入	60,000	0	60,000
寄付金収入	40,000	0	40,000
市民ソーラー仲介収入	0	25,000	25,000
講師派遣収入	100,000	0	100,000
受取利息	0	500	500
その他収入	0	0	0
経常収益計	200,000	1,525,500	1,725,500
II 経常費用			
1.事業費			
会議費	0	0	0
通信費	0	15,000	15,000
消耗品費	100,000	0	100,000
諸会費	25,000	15,000	40,000
地代家賃	0	28,800	28,800
減価償却費	0	900,000	900,000
2.管理費			
広告宣伝費	50,000	50,000	100,000
会議費	5,000	5,000	10,000
旅費交通費	10,000	10,000	20,000
通信費	60,000	60,000	120,000
備品消耗品費	20,000	20,000	40,000
事務用品費	2,000	2,000	4,000
水道光熱費	7,000	7,000	14,000
支払手数料	2,000	2,000	4,000
地代家賃	21,000	21,000	42,000
支払報酬料	93,600	93,600	187,200
印刷費	15,000	15,000	30,000
雑費	21,600	21,600	43,200
雑損失	2,000	2,000	4,000
経常費用計	434,200	1,268,000	1,702,200
当期経常増減額	-234,200	257,500	23,300
経理区分振替額			0
税引前当期正味財産増減額			23,300
法人税、住民税及び事業税			70,000
当期正味財産増減額			-46,700
前期繰越正味財産			1,595,442
次期繰越正味財産			1,548,742

※返済積立金として1,000,000円を積み立てる予定である。